学修目標

歯と口腔の諸構造について、形態学的および組織学的な特徴を機能と関連を付けて理解する。また、これらの機能や構造的な意義を、臨床的・学際的な視点から捉え考えることができる素養を身に付ける。

■教科書:1 組織学・口腔組織学 第4版 (わかば出版)

2 小児歯科学 第4版 (医歯薬出版)

3 カラーアトラスロ腔組織発生学第3版(わかば出版)

■参考書:1 指定しない。但し、講義中に関連する成書等を適宜紹介する。

■授業時間:以下の通り。関連する「発生と発育」講義日程が網掛けで示してある。

	第1時限	第2時限		第3時限	第4時限
9月26日(金)	発生と発育	発生と発育			
9月29日(月)	発生と発育	発生と発育	10月3日(金)	発生と発育	発生と発育
10月6日(月)	発生と発育	発生と発育	10月10日(金)	発生と発育	第1回清水治
10月13日(月)	【体育の日】		10月17日(金)	第2回清水治	第3回本田雅
10月20日(月)	発生と発育	第4回本田雅	10月24日(金)	【桜色	越祭
10月27日(月)	第5回本田雅	第6回本田雅	10月31日(金)	第7回本田雅	第8回本田雅
11月3日(月)	【振替	代休】	11月7日(金)	第9回本田雅	第10回本田雅
11月10日(月)	第11回本田雅	第12回本田雅	11月14日(金)	第13回本田雅	第14回本田雅
11月17日(月)	第15回本田雅	第16回本田雅	11月21日(金)	第17回本田雅	第18回本田雅
11月24日(月)	【振替代休】		11月28日(金)	第19回本田雅	第20回本田雅
12月1日(月)	第21回中間試験	第22回本田雅	12月5日(金)	発生と発育	第23回本田雅
12月8日(月)	発生と発育	発生と発育	12月12日(金)	発生と発育	発生と発育
12月15日(月)	発生と発育	発生と発育	12月19日(金)	発生と発育	発生と発育
12月22日(月)	発生と発育	発生と発育			
12月26日(金)	第24回磯川	第25回本田和	1月2日(金)	【冬季休暇】	
1月8日(木)	第26回磯川	発生と発育	1月9日(金)	発生と発育	発生と発育
1月12日(月)	【成人の日】		1月16日(金)	発生と発育	発生と発育
1月19日(月)	発生と発育	発生と発育	1月23日(金)	第27回本田雅	第28回本田雅

■ オフィスアワー: 清水 治 (口外Ⅱ) 月曜日 17:00~18:00 本田 雅規 (解剖Ⅱ) 月曜日 11:50~12:50 磯川 桂太郎 (解剖Ⅱ) 月曜日 12:00~13:00 本田 和也 (放射線) 月曜日 17:00~18:00 ■成績評価:12月1日の中間試験(50%)と後期定期試験(50%)によって評価・判定する。受講態度を加味する。なお、中間試験の結果に応じて、補講や再試験などの措置を講じることがある。

■注意事項:曜日や時間が変更になる講義あり。12月26日(金)と1月8日(木)は月曜日の講義に振り替えられる。

■準備学習:教科書を必ず事前に読んで、授業内容の目的を理解してくること。教科書に書かれている新しい用語は覚えてくること。帰宅後に復習を行い、疑問点はオフィスアワーの時間を利用して解決すること。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回10月10日(金)	1. 口腔組織	・唾液腺の発生段階を理解する。
13:00~13:50	1) 唾液腺の発生と再	・発生過程での細胞増殖,分化,
清水治	生	branching などを調節する因子とその
		働きを学ぶ。
		・再生過程における唾液腺の変化を学
		\$``
		・唾液腺における発生と再生の異同を理
		解する。
第2回10月17日(金)	1. 口腔組織	・唾液の分泌メカニズムを理解する。
11:00~11:50	2) 唾液腺の分泌と障	・ドライマウスで代表される分泌障害の
清水治	害	病態を学ぶ。
		・唾液腺の加齢変化を学ぶ。
第3回10月17日(金)	2. 歯と歯周組織	・歯の構成要素それぞれについて、その
13;00~13:50	1) 歯の概要	形態学的および組織学的(顕微鏡的)
本田雅規		な構造を概括し、本教科で学ぶ知識を
100/00		整理する "引き出し" づくりをする。
	11. X 11. 11. 11.	
第4回10月20日(月)	2. 歯と歯周組織	・エナメル質の成長線とその意義を学
10:00~10:50	2) エナメル質 I	\$6
本田雅規	(教 1) pp. 263-269	・Hunter-Schreger 条の成因をエナメル
		小柱の走行と関連づけて立体的に理解
		する。
		・Retzius 条と、エナメル小柱の横紋、
		周波条、出生時の劇的な変化によって
	the North Berlinett	生じる新産線との関連性を理解する。
第5回10月27日(月)	2. 歯と歯周組織	・エナメル叢、エナメル葉、エナメル紡
9:00~9:50	2) エナメル質 II	錘の構造と成因について理解する。
本田雅規	(教1) pp. 270-272	・エナメル質と象牙質、象牙質とセメン
1 - 3 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2 - 2		ト質の境界部の構造について学ぶ。

授業日・担当者	講義項目	学 修 到 達 目 標
第6回10月27日(月) 10:00~10:50 本田 雅規 第7回10月31日(金) 11:00~11:50	 生物問組織 エナメル質 III (教1) pp. 263 - 272 生物問題 本計メル質 III (教1) pp. 263 - 272 	・象牙質、エナメル質、セメント質および骨の有機成分、無機成分の組成と、その差異とを学ぶ。 ・エナメル質の物理化学的性状と、それを構成する無機塩結晶の特徴を理解する。 ・エナメル質有機成分の種類と性状を学び、これらとエナメル質の微細構造や無機塩結晶との関連を理解する。 ・象牙質成長線の成因、意義を理解する。 ・象牙質に加わる刺激に対しての象牙細
本田 雅規	(教1) pp. 276-286	管の組織学的反応とその臨床的な重要性を学ぶ。 ・象牙質知覚メカニズムの学説を学ぶ ・象牙質に至る神経の名称や走行を学ぶ。 ・加齢や防御反応としての象牙質の組織学的変化を理解する。
第8回10月31日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	3. 組織像の見かた 1) 歯と歯周組織 2) エナメル質 (教3) pp. 2-5, 31-34, 55-69	・歯とその周囲組織における各組織間の位置関係を顕微鏡下で確認する。 ・エナメル質で観察される次の諸構造を顕微鏡下で同定するポイントを学び、組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 [エナメル質] エナメル質] エナメルがは、小柱間質、小柱鞘Hunter-Schreger条、Retzius条、横紋
第9回11月7日(金) 11:00~11:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織 3) 象牙質 II (教1) pp. 276-286	 ・象牙質成長線の成因, 意義を理解する。 ・象牙質に加わる刺激に対しての象牙細管の組織学的反応とその臨床的な重要性を学ぶ。 ・象牙質知覚メカニズムの学説を学ぶ・象牙質に至る神経の名称や走行を学ぶ。 ・加齢や防御反応としての象牙質の組織学的変化を理解する。

授業日·担当者	講義項目	学 修 到 達 目 標
第10回11月7日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	3. 組織像の見かた 2) エナメル質 3) 象牙質 (教3)pp. 55-69, 35-48	・エナメル質,象牙質で観察される次の 諸構造を顕微鏡下で同定するポイント を学び,組織学的特徴と成因・機能な どとの関係を再確認する。 [エナメル質] エナメル類] エナメル葉,エナメル叢, エナメル葉,エナメル紡錘, 象牙芽細胞突起,新産線 [象牙質] 原生象牙質,外套象牙質,髄周象牙質, 第2象牙質,修復象牙質,透明象牙質, 硬化象牙質,死帯,髄質,死帯
第11回11月10日(月) 9:00~9:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織 4) 歯髄 (教1) pp. 287-296	 ・歯髄の細胞や基質線維の走向を学ぶ。 ・歯髄細胞層の構築と歯髄における脈管神経の分布,形態学的特徴を理解する。 ・加齢にともなう歯髄の変化や,象牙質粒の分類と成因を学ぶ。 ・刺激に対する歯髄組織の防御反応を学び,臨床における歯髄保護の重要性を理解する。
第12回11月10日(月) 10:00~10:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織5)歯周組織の概要	・歯周組織の構成要素それぞれについて、その組織学的(顕微鏡的)な構造を概括し、本教科で学ぶ知識を整理する"引き出し"づくりをする。 ・歯と歯周組織を構成する諸構造の種類と位置的な関係を図示できるようにする。
第13回11月14日(金) 11:00~11:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織 6) 歯根膜 I (教 1) pp. 313-324	 ・広義には関節と位置づけられる歯根膜の役割と、それを実現する上での組織学的な特徴を学ぶ。 ・巨視的な形態(特にその厚み)について、部位差や加齢に伴う変化を学ぶ。 ・歯根膜に存在する種々の細胞について、その特徴、役割、発生学的な由来を整理・理解する。

授業日•担当者	講義項目	学 修 到 達 目 標
第14回11月14日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	3. 組織像の見かた 3) 象牙質 (教3)pp.35-48	・象牙質、歯髄で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び、その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 [象牙質] 象牙細管、管周象牙質、管間象牙質、象牙前質、球間象牙質、球間象牙質、球間線牙質、球間網、球間区、Tomes 顆粒層、von Ebner線、Owen 外形線、Andresen線
第15回11月17日(月) 9:00~9:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織 6) 歯根膜 II (教 1) pp. 313-324	 ・歯根膜主線維の走行・分類、分子構成、機能的役割、また、歯根膜の弾性線維系線維群の組織学的な特徴を学ぶ。 ・動静脈と神経線維の走行・分布を学び、脈管神経隙との関係を理解する。 ・歯根膜に分布する神経終末、特に感覚性の受容器をなす構造の形態と機能的な特徴を学ぶ。
第16回11月17日(月) 10:00~10:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織7) セメント質(教1) pp. 297-306	・セメント質形成過程,セメント質にみられる細胞や基質線維の特徴を学ぶ。・無細胞セメント質・有細胞セメント質の特徴を学ぶ
第17回11月21日(金) 11:00~11:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織 8) 歯槽骨 (教1) pp. 307-312	・顎骨および歯槽骨の構造を理解する。・固有歯槽骨の組織学的な構造を学び、 束状骨と層板骨の相違を理解する。・骨芽細胞や破骨細胞の形態や機能を理解する。
第18回 11月21日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	3. 組織像の見かた 4) 歯髄 (教3)pp. 49-53	・歯髄で観察される次の構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定するポイントを学び、その組織学的特徴と成因・機能などとの関係を再確認する。 [歯髄] 象牙芽細胞層、細胞稀薄層、Weil 層、細胞稠密層、象牙芽細胞、線維芽細胞、膠原線維、血管、神経線維、Raschkow 神経叢

授業日・担当者	講義項目	学 修 到 達 目 標
第19回 11月28日(金) 11:00~11:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織 9) 口腔粘膜 (教1) pp. 325-330	・口腔粘膜を機能的に分類し、それらの 特徴と口腔内での分布を知る。
第20回 11月28日(金) 13:00~13:50 本田 雅規	3. 組織像の見かた5) セメント質6) 歯根膜(教3)pp. 71-84	・セメント質、歯根膜で観察される次の 構造あるいは細胞を顕微鏡下で同定す るポイントを学び、その組織学的特徴 と成因・機能などとの関係を確認する。
		[セメント質] セメント - エナメル境, 細胞性セメト質, 無細胞性セメント質, セメント細胞, セメント小腔, セメント細管, セメント小体, Sharpey 線維, 類セメント質, 中間セメント質
		[歯根膜] 歯根膜線維(主線維),線維芽細胞, セメント芽細胞,骨芽細胞, 脈管神経隙,Malassez 上皮遺残
第21回 12月1日(月) 9:00~9:50 本田 雅規	中間試験	 第3-7, 9, 11-13, 15-17 回の講義を 範囲とする筆答試験を行う。 詳細は別途通知するが、この試験の結果が思わしくなかった者に対しては、 別途 補講・再試の措置を講じることも ある。
第22回 12月1日(月) 10:00~10:50 本田 雅規	2. 歯と歯周組織 10) 歯肉 (教1) pp. 331-344	・歯と歯肉の境界部における発生学的な特徴とその機能的意義を把握する。・歯肉線維の種類,走行と機能的意義,歯肉の血液供給と神経分布を理解する。

授業日•担当者	講義項目	学 修 到 達 目 標
第23回12月5日(金)	3. 組織像の見かた	・歯槽骨、歯肉で観察される次の構造あ
$13:00 \sim 13:50$	7) 歯槽骨	るいは細胞を顕微鏡下で同定するポイ
本田 雅規	8) 歯肉と口腔粘膜	ントを学び、その組織学的特徴と成
	(教3)pp. 85-93	因・機能などとの関係を再確認する。
		[歯槽骨]
		固有歯槽骨,支持歯槽骨,束状骨,
		Sharpey 線維,層板骨,歯槽硬線,
		骨芽細胞,骨細胞,類骨
		[歯肉]
		口腔上皮,遊離歯肉,付着歯肉,
		遊離歯肉溝,歯-歯肉境,歯肉溝,
		歯肉溝上皮,細胞浸潤,接合上皮,
		上皮脚,歯肉線維
第24回 12月26日(金)	1. 口腔組織	・滑膜性関節の一般構造を学び、これと
9:00~9:50	3) 顎関節 I	対比で、顎関節の構成とその特徴を理
磯川 桂太郎	(教1)pp. 365-372	解する。
		・下顎骨の関節突起および下顎頭の特
		異性を組織・発生学的な観点から学ぶ
第25回12月26日(金)	1. 口腔組織	・顎関節を構成する各部の名称を学ぶ。
10:00~10:50	3) 顎関節Ⅱ	・生体における顎関節円板の位置や形態
本田 和也	(教1)pp. 365-372	を動画像を通して学び、顎関節円板の
		役割を理解する。
		・顎関節症で生じる円板障害について学
*** • • • • • • • • • • • • • • • • • •	71-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	び、円板の位置や形態変化を理解する。
第26回1月8日(木)	1. 口腔組織	・下顎頭の形態の差異が下顎運動に及ぼ
9:00~9:50	3) 顎関節Ⅲ	す影響を比較解剖的に理解する。
磯川 桂太郎	(教1)pp. 365-372	・上・下顎骨の加齢にともなう形態変化
第 97 同 1 日 99 日 (A)	0 特/特国和森	を学ぶ。
第27回1月23日(金)	2. 歯と歯周組織	・エナメル質、象牙質、歯髄、セメント
11:00~11:50	11) 加齢変化と代謝 (對 1)pp 272 285	質の加齢変化を学ぶ。
本田 雅規	(教1)pp. 272, 285,	・歯髄-象牙質複合体と歯周組織の代謝
	293, 304,	について理解する。
	310–311, 323	
第28回1月23日(金)	323 2. 歯と歯周組織	・歯の発育段階と障害の種類の関係を理
13:00~13:50	2. 歯こ歯の配触 12) 歯の発育障害	解する。
本田 雅規	(教 2) pp. 58-83	・ 歯の形成不全の種類, 発生時期を学ぶ。
/ 十一	(4X 4) pp. 50 03	四マノバンルス(下土マン「里夫只,丁七二十寸方別で、十つつ。